

絶滅まであと1分!

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

オランウータンからのSOS

いのち
みんなの生命の森



熱帯雨林を次世代にも!

どうぞ力を貸してください!

あなたの呼吸する酸素の50%、
地上の生物種の50%、
地球の水の循環や滝木の循環
気候変動にも大きな影響がある
熱帯雨林は生命の源です

オランウータンの住める熱帯雨林は、
人類にも不可欠な生物多様性の森です



NPO ボルネオ オランウータン サバイバルファンデーション日本

【当団体はインドネシアのオランウータン保護財団より、日本の団体として任命団体です】

<http://www.bos-japan.jp> info@bos-japan.jp

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

わたしたち生物は、地球の多様な生態系に依存して生きています。

その根幹は、「森林」です。

「文明の前に森林があり、文明のあとに砂漠あり」

「森の無い地球に人類の未来はない！」

森林のなかでも熱帯雨林は格別で人類の生存に不可欠な森です。

地球で生きてゆくために必要な酸素の50%を供給し、
地球上の生物種の約50%・さまざまな動植物が熱帯雨林に生かされています。

熱帯雨林は保護・維持するために「森の人」オランウータンが大きな役割を果たしてきました。1頭で約100ヘクタールもの熱帯雨林の生態系を守ってきました。

人の手の入った森ではオランウータンは、生存できないといわれています。
人類の活動による伐採、焼畑、農地の拡大、都市の拡大、牧場の拡大により

熱帯雨林大幅に減少しています。

オランウータンは、熱帯雨林の消滅を警告する「カナリヤ」です。

今では世界中で「ボルネオとスマトラにしか生息していない」貴重な動物です。
人類が壊した「熱帯雨林の循環」をこれ以上減らさないため保護林を守ることは、
次世代に生命の源、熱帯雨林を引き継ぐことにつながります。

■地球の肺「熱帯雨林」の減少で「あらゆる生命の生存」が危機的状況です～

熱帯雨林は赤道の近くにある暑い国の熱帯雨林は一年中あたたかくていつも光合成をしています。地球の新しく供給される酸素の半分以上が、熱帯雨林から作られています。

現在の状況が続けば、40年以内には熱帯雨林が消失すると予想され、消失すると、大きな気候変動を招き、そこに住む人々の生活、あらゆる生物の生存が脅かされます。

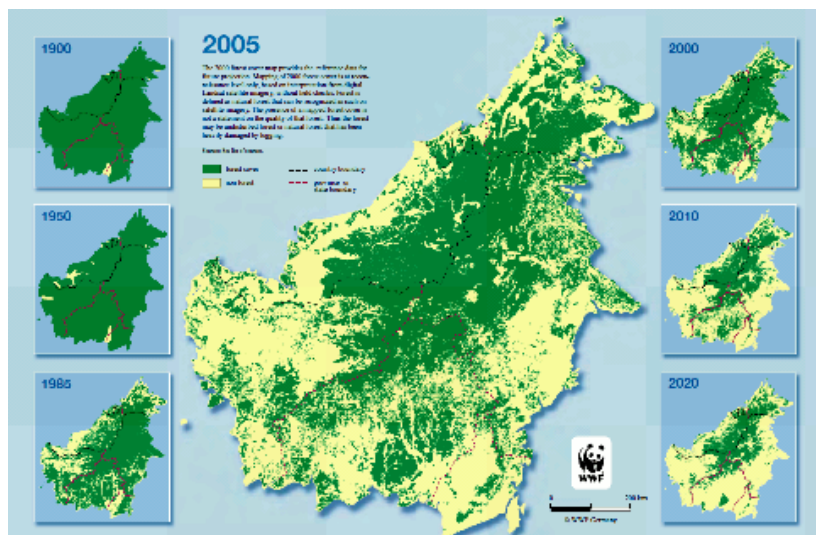
- 酸素の供給～地球の肺と呼ばれ約50%の酸素を供給～
- 生物多様性の維持：～地球の生物種の約50%が熱帯雨林に生存～
- 栄養循環と生物多様性維持
- 熱帯雨林の水分循環～水不足、温暖化も促進～
- 大気中の炭素固定の機能が高い・生育旺盛な植物群～地球温暖化対策にも不可欠～

◆気象への影響

森林がなくなると、水の循環、大気の循環、栄養循環が壊れます。

地表の熱収支、対流の変化、地表の気温の上昇、降雨の分布の変化などが起こり、異常気象は、乾燥地・半乾燥地の農地の砂漠化を進行させ、環境劣化の負の連鎖が起ります。

■ボルネオの天然林の減少の現実



ボルネオ島の森林面積は年々大変大きく減少しています。1900年にはほぼ全域が森林でしたが、2005年の時点では下の図のようにその森林面積は半減しました。

現在では下の図の2010年と2020年の中間ぐらいに減少しています。

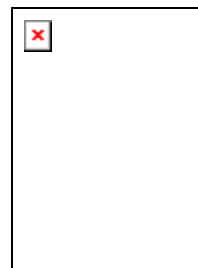
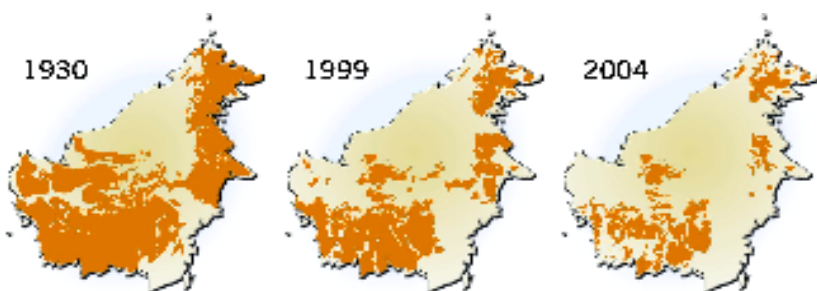
今も、今後も、人間による伐採や森林火災により森林面積はさらに減少すると予測されています。

残された森林の多くは二次林となり、元の5層構造の豊かな熱帯雨林では

なくなっています。主木を失った二次林では、最高30m、2層から3層林までしか生育しません。元の熱帯雨林の再生は人類にはほとんど不可能です。保護することが一番です。

◆天然林を棲家にするオランウータンの生息地域も激減(WWF)

追い詰められ、絶滅の危機です。



●オランウータンの絶滅は、熱帯雨林の絶滅と地球の生態系システムを根底からの崩壊を意味します。

★子どもたちの未来のために熱帯雨林を守ろう！！

◆100年先まで熱帯雨林を守る保全のため、力を貸してください。

～BOS財団本部 理事長からの要請～保護林の獲得～

インドネシア 東カリマンタン州のバリックパパン市の郊外にあるオランウータンのリハビリセンターには200頭を超えるオランウータンが自然に帰るために訓練を受けています。しかし、訓練を終えたオランウータンを返してあげるための安全な森が無かった為、2002年以来、一頭も森に帰せませんでした。

それは、天然の森が日々どんどん無くなって、残された森林もいつ破壊されるかわからない状況が続いてきたからです。

BOS本部の理事長、ブンガワンサラギ氏と11月5日に面談し、「これからこの森を100年間オランウータンの棲むための保護林を林業省より獲得しました。

その使用料を国に2年以内に納めて権利を確定する必要があります。別な施設はイギリスなどヨーロッパからの支援をしてもらっているので、バリックパパンは、日本との縁が深いので日本の支援を頂けると嬉しい」

